女子高生や女子学生は、「ワリキリ」を学習しないで！

先日、ＪＫリフレ（女子高校生によるリフレクソロジー〔足裏などのマッサージ〕の略称）で警察に補導された女子高生が「友達から、楽に小遣い稼ぎができるからと誘われた」といい訳する報道に接し、風俗にはまり、また、犯罪に巻き込まれる危険性があるのに、今時の若い女性の自らの性の意識回路はどうなっているのか、「３丁目の夕日」時代を過ごした身には、想像・理解の域を超えている。

丁度報道の直ぐ後に新聞の書評で、「売春をめぐっては、世の中が豊かになるにつれ、『貧困型』よりも『享楽型』が増えているといわれがちだが、後者の当事者も問題を抱えていないわけではないという。著者は、社会からの『斥力』があるからこそ、彼女たちは売春に引き寄せられるからだ。社会保障、雇用、医療への接続……。『ｎ個の排除の数だけｎ個の包摂を』と訴える。」が目に留止まり、今時の若者の性の意識回路を知る一助になるかなと思い、「彼女たちの売春（ワリキリ）～社会からの斥力、出会い系の引力～」を購読した。

著者は、政治経済から社会問題まで幅広いジャンルで取材・評論活動を行っている若きジャーナリストで、全国の大都会に限らず地方都市の出会い喫茶や出会い系サイトで取材であることを了解した１００人以上のワリキリ女性たちへのインタビューをし、その事例報告書とも云える書であり、更に、筆者が「質的にも量的にも、これほどまでにデータを集めた人はそういない」と自負するように、３０００人分以上のワリキリ女性たちのデータを統計分析した書でもあった。

確かに、たくさんの事例を読むと、彼女たちがどうしてワリキリを始め、続けているのか、その理由には、虐待やＤＶ、いじめ、パワハラ、リストラ、等々、彼女たちの人生には複雑な一人ひとり異なる物語があり、生き延びるための手段としてワリキリを選択した背景が浮かび上がってくるだけに、筆者は「彼女たちを包摂する社会を！」と訴えているのであろう。

それにしても、事例の彼女たちのインタビュー部分に、いわゆる風俗隠語が多く出てくるので、「３丁目の夕日」世代には意味不明なものが多く、「ワリキリ（お金で割り切った体の関係）」の隠語も本書で初めて知り、こうした隠語が通じる社会の一角が直ぐ側にあることに、正直(@_@)

女子高生や女子学生は、「自らの性は容易に売りになる」ということだけは学習しないで欲しい。

阿部幸泰　　（2013 年 2 月 4 日　記）